

# 第42回埼玉県細胞検査士会学術集会

症例検討会 乳腺

## 【症例】

- 50代女性.
- 2年前, 検診のMMGで左U領域の陰影を指摘され, 当院受診となったが, 明らかな腫瘍なく経過観察中であった. 今回, 超音波検査にて左AC領域に17.9×12.4×9mm大の不整形で境界不明瞭な腫瘍を認め, 穿刺吸引細胞診, および針生検による組織診を行った.
- 既往歴: 甲状腺機能低下症.

## 【検査材料】

LBP (TACAS™ Ruby:上尾方式) 1枚

# 【選擇肢】

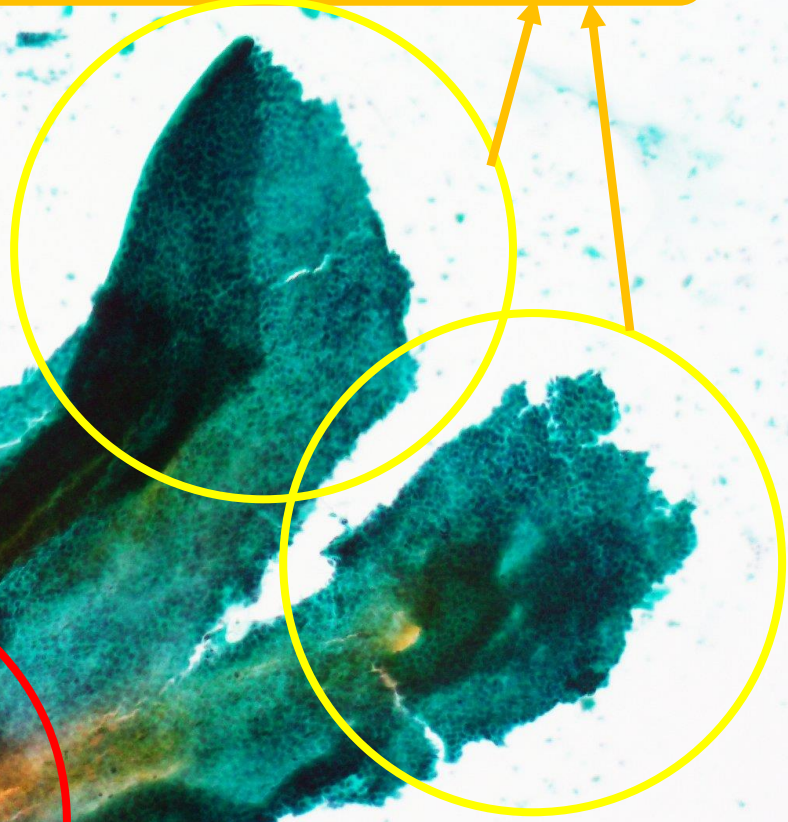
1. 乳管內乳頭腫
2. 非浸潤性乳管癌
3. 浸潤性乳管癌
4. 粘液癌

# 事前集計結果

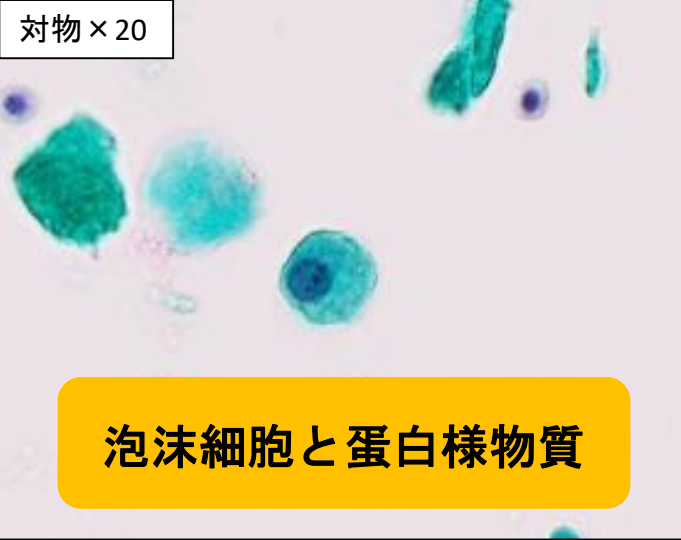
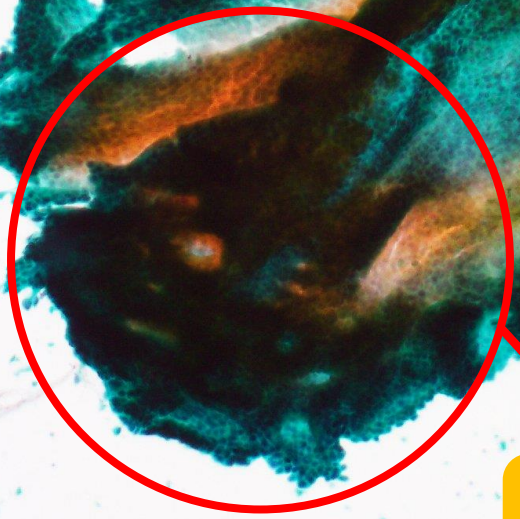
1.乳管内乳頭腫	5名
2.非浸潤性乳管癌	15名
3.浸潤性乳管癌	7名
4.粘液癌	10名

# 解 説

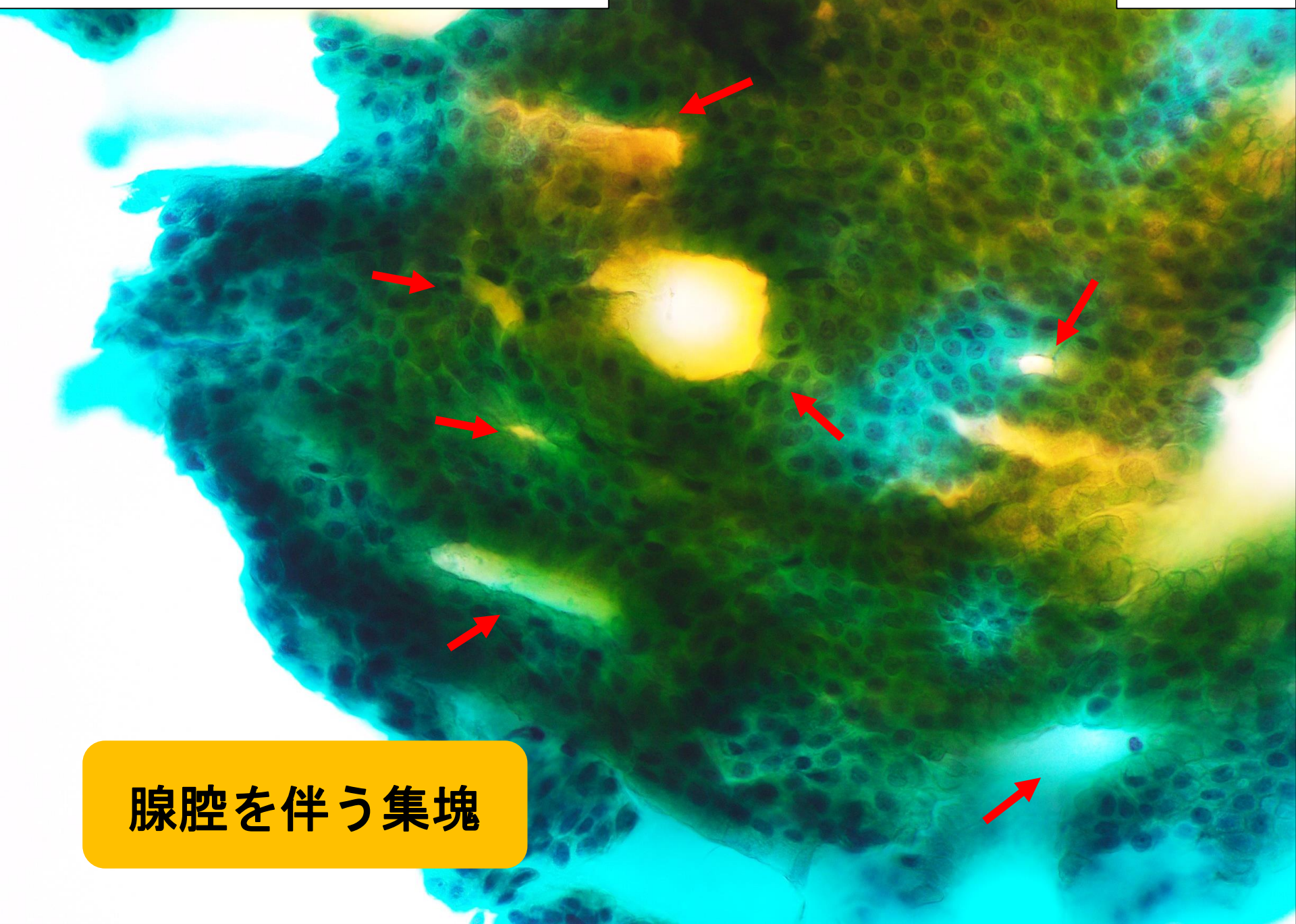
辺縁が平滑なシート状細胞集塊



腺腔を伴った重積性を示す集塊

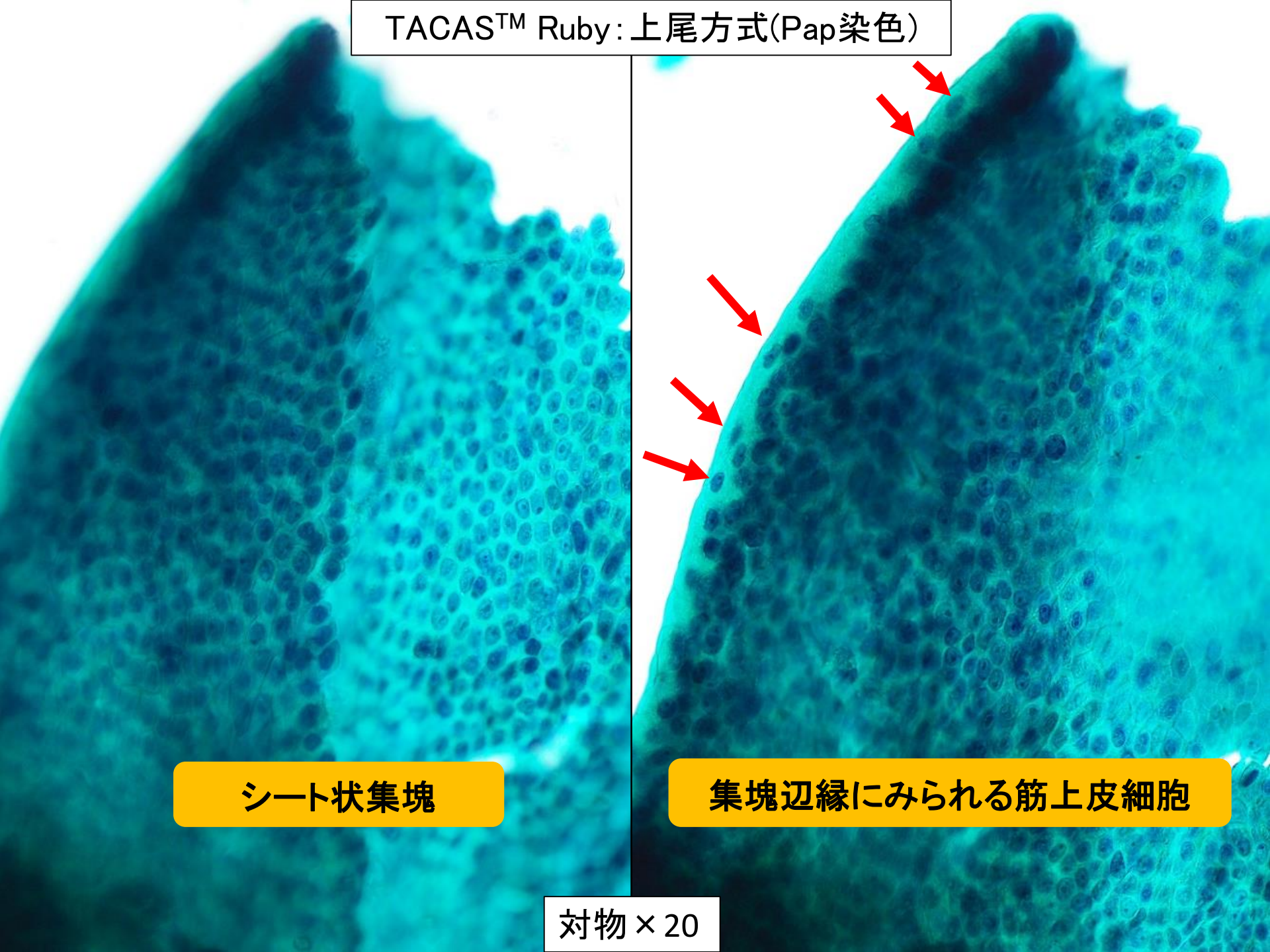


泡沫細胞と蛋白様物質



腺腔を伴う集塊

TACAS™ Ruby: 上尾方式(Pap染色)

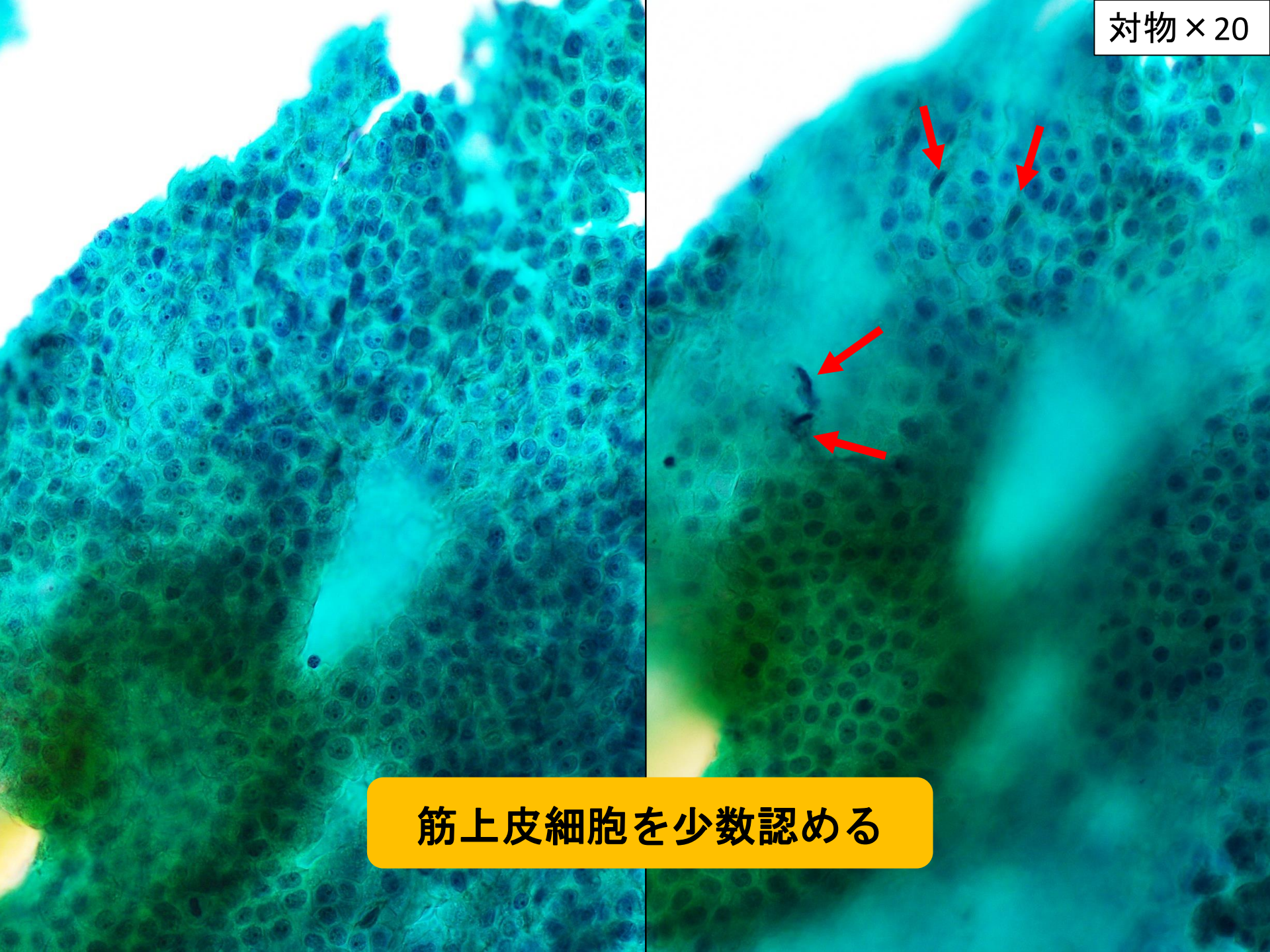


シート状集塊

集塊辺縁にみられる筋上皮細胞

対物×20

対物×20

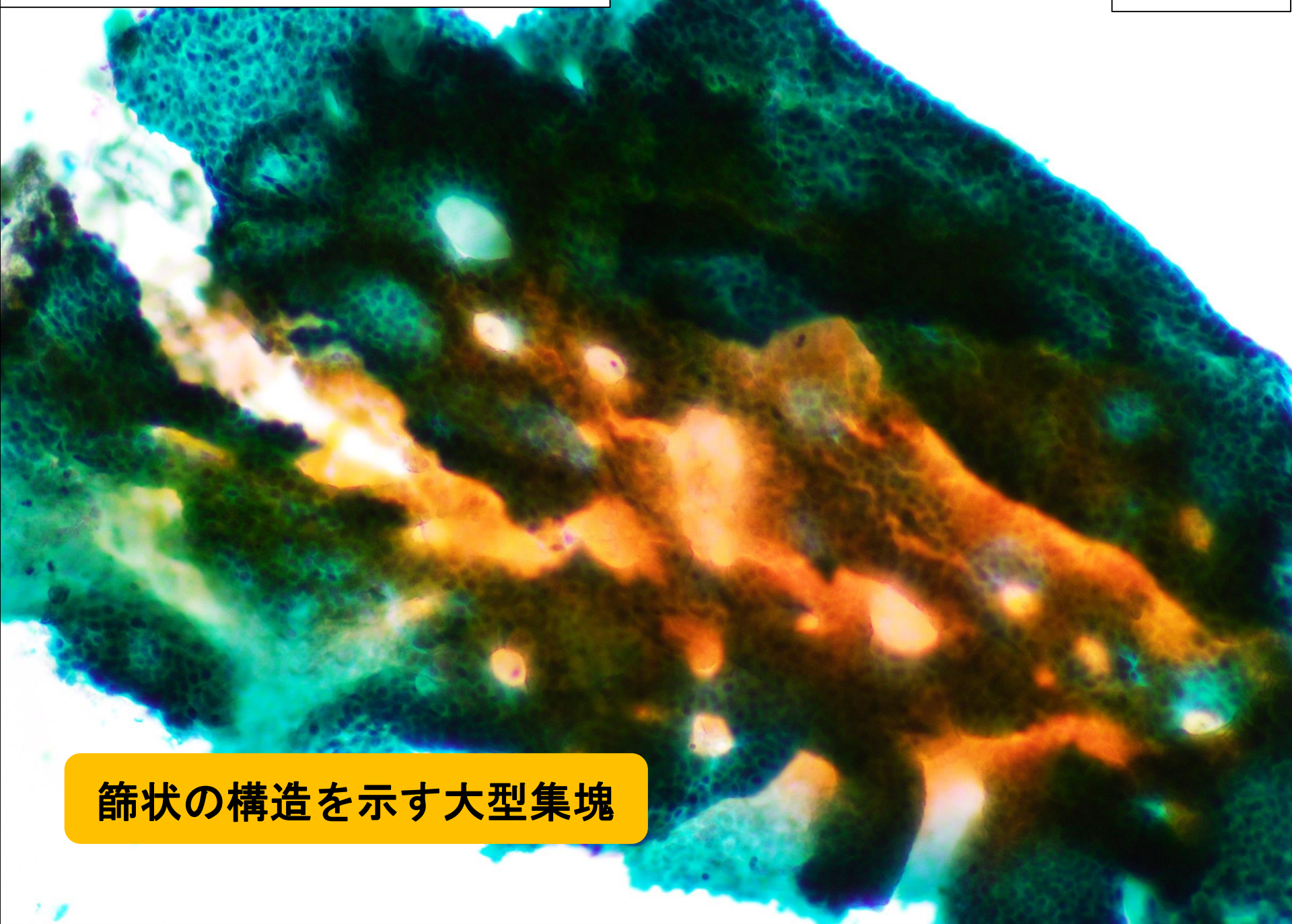


筋上皮細胞を少数認める

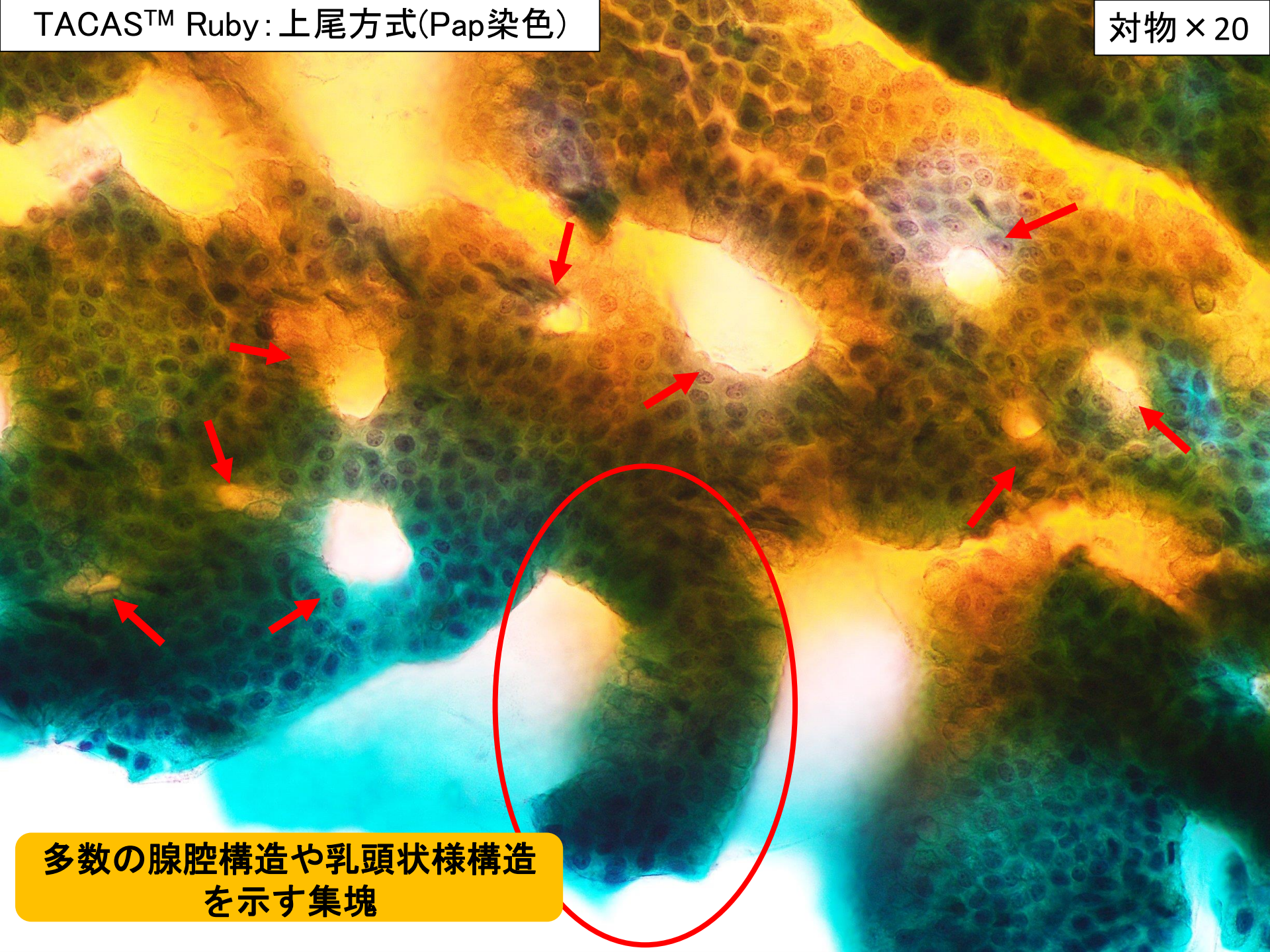
対物×40

核密度が高い単一性の増殖像

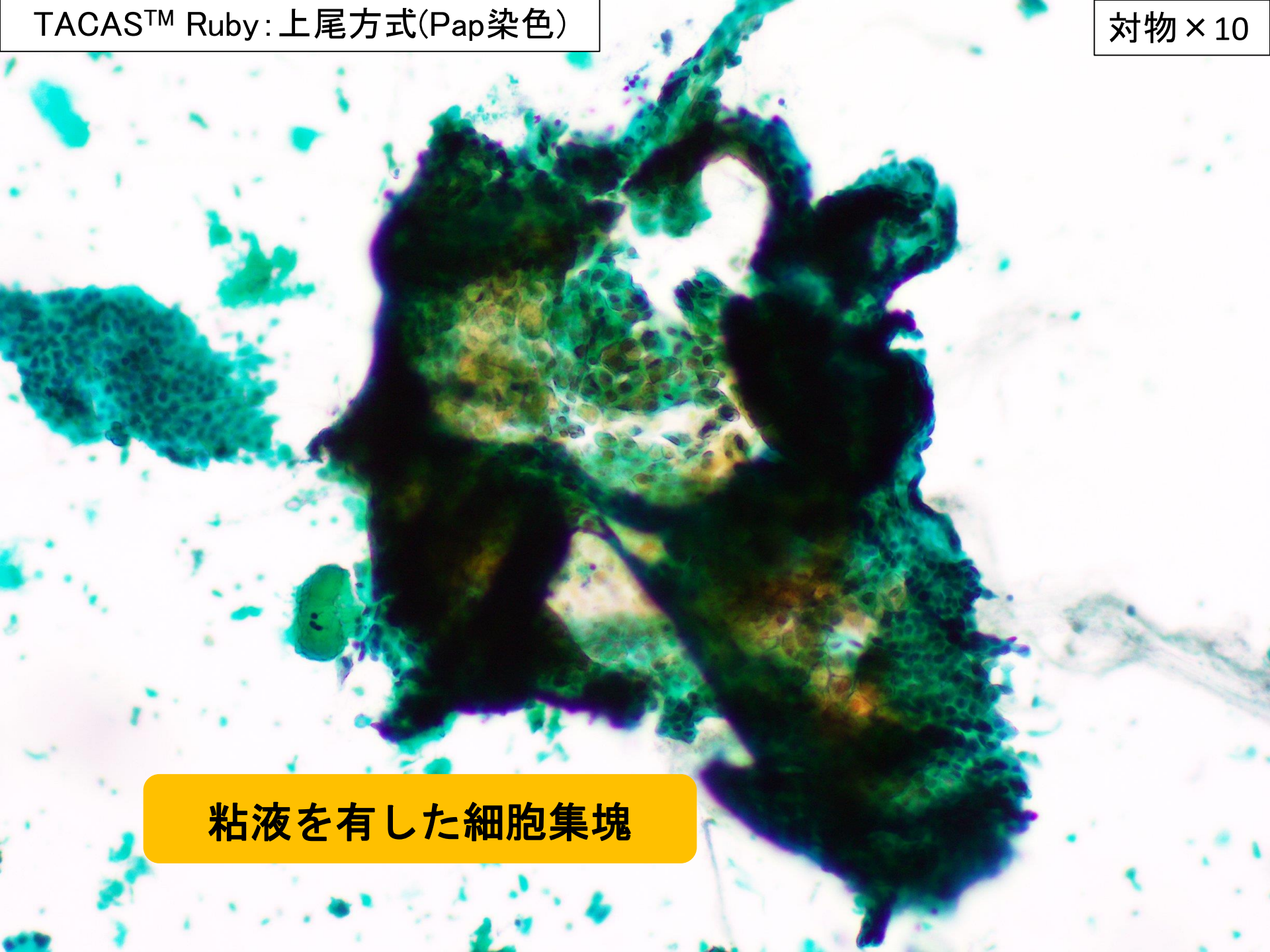
TACAS™ Ruby: 上尾方式(Pap染色)



篩状の構造を示す大型集塊



多数の腺腔構造や乳頭状様構造  
を示す集塊



粘液を有した細胞集塊

TACAS™ Ruby: 上尾方式(Pap染色)



黄色調の粘液

対物×40

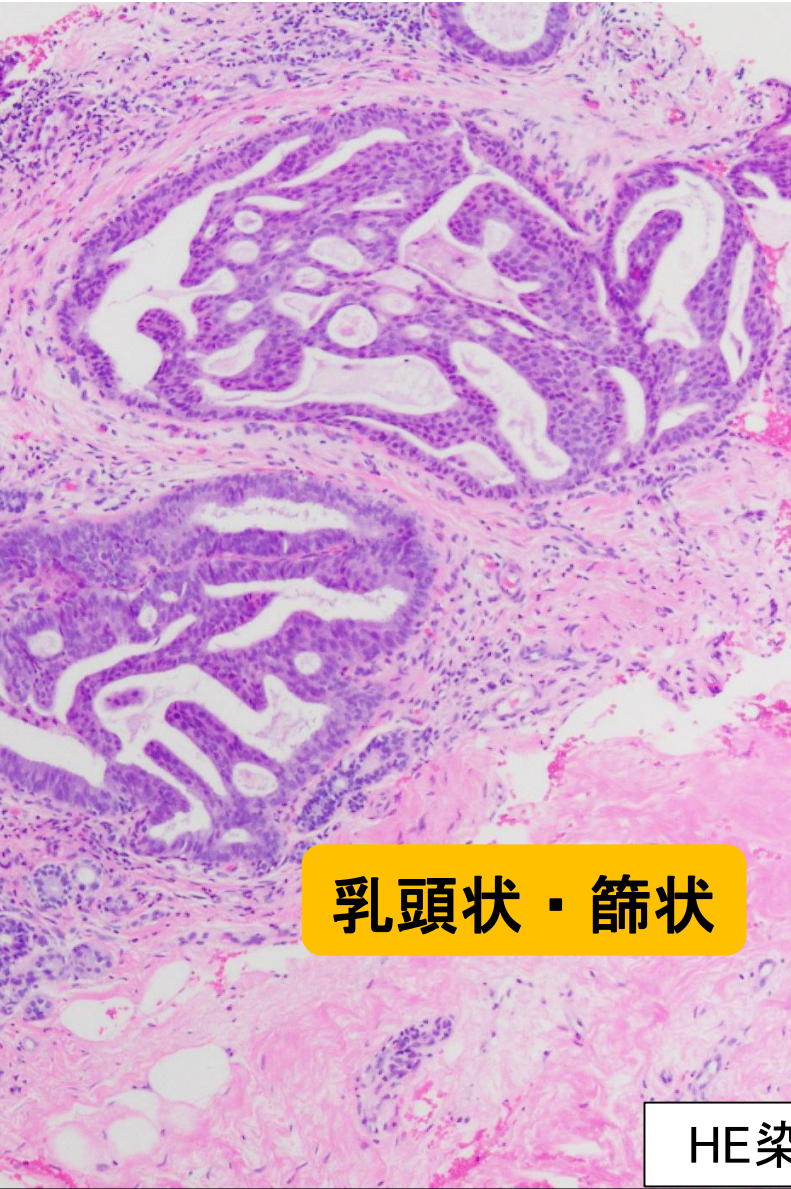
# 【細胞診断】

悪性を強く疑う Class IV

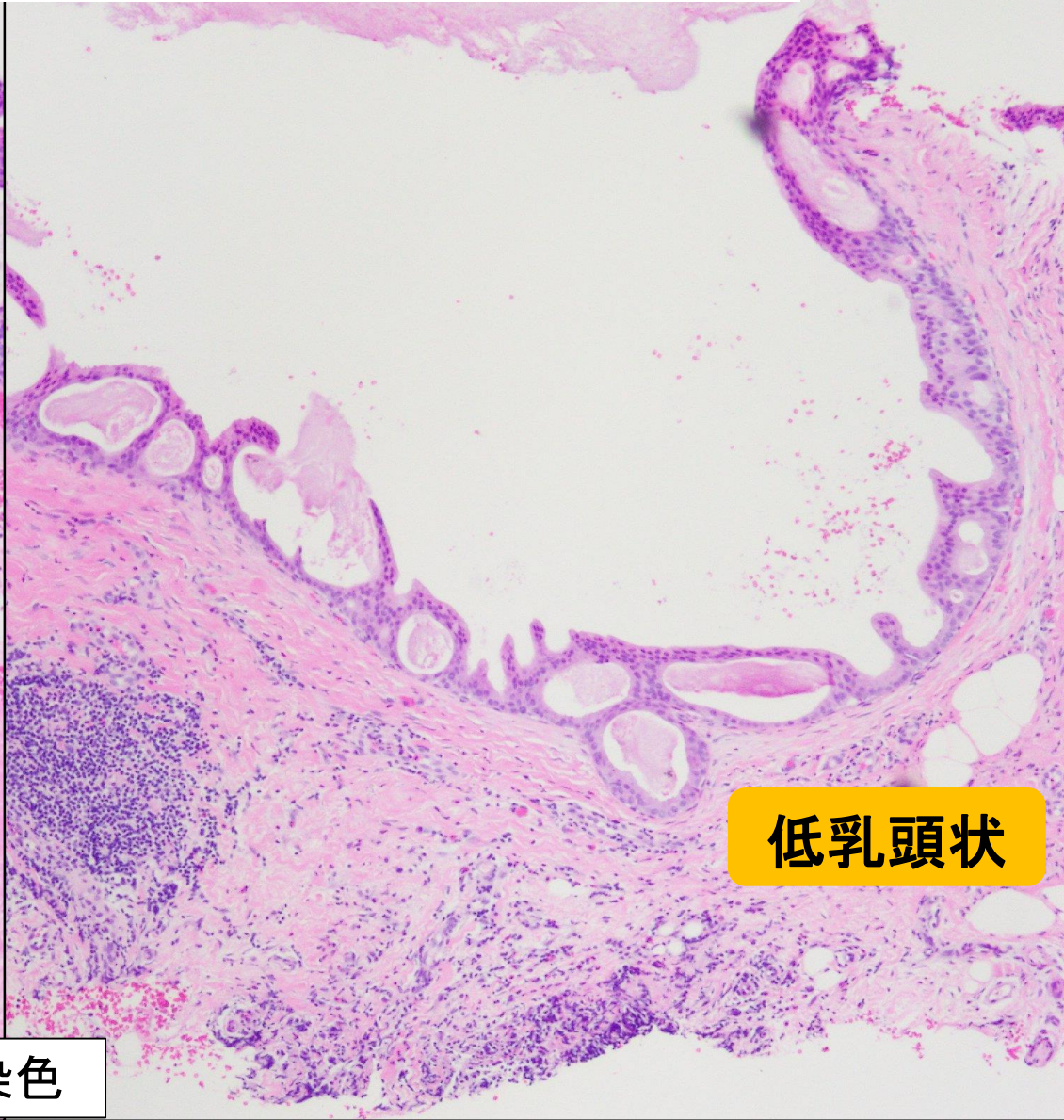
Ductal carcinoma is highly suspected.

# 【生検検体組織像】

組織学的診断：Ductal carcinoma in situ



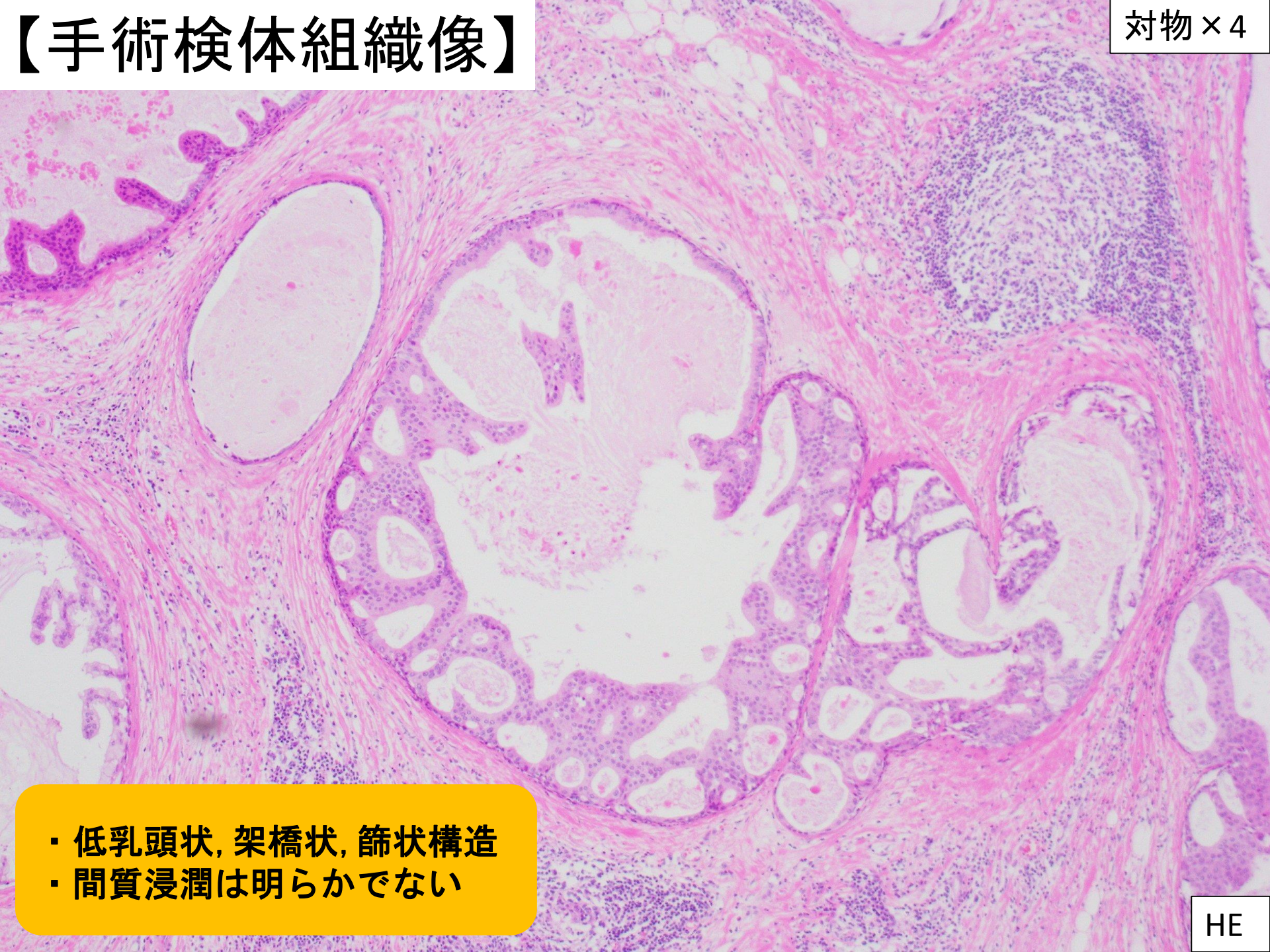
乳頭状・篩状



低乳頭状

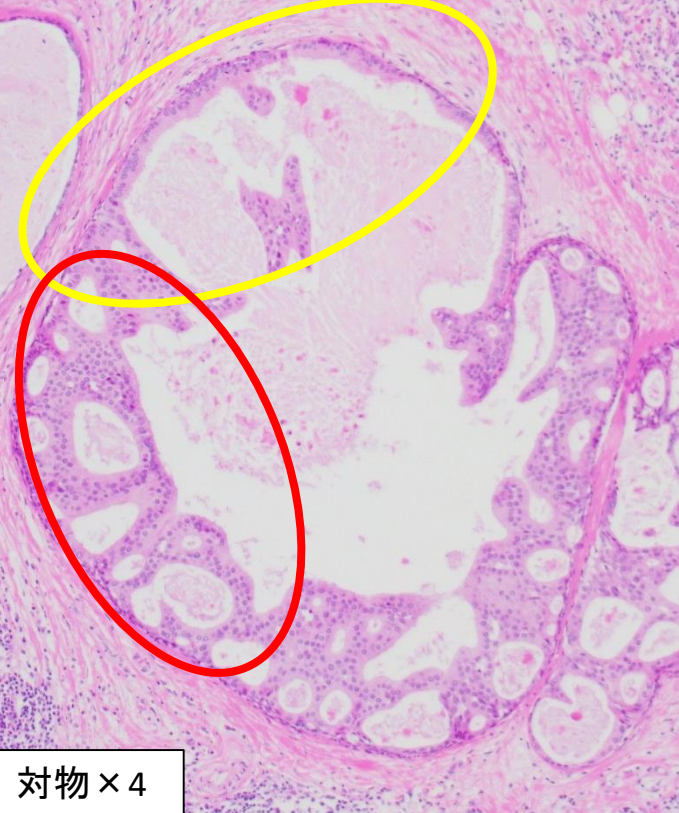
HE染色

# 【手術検体組織像】

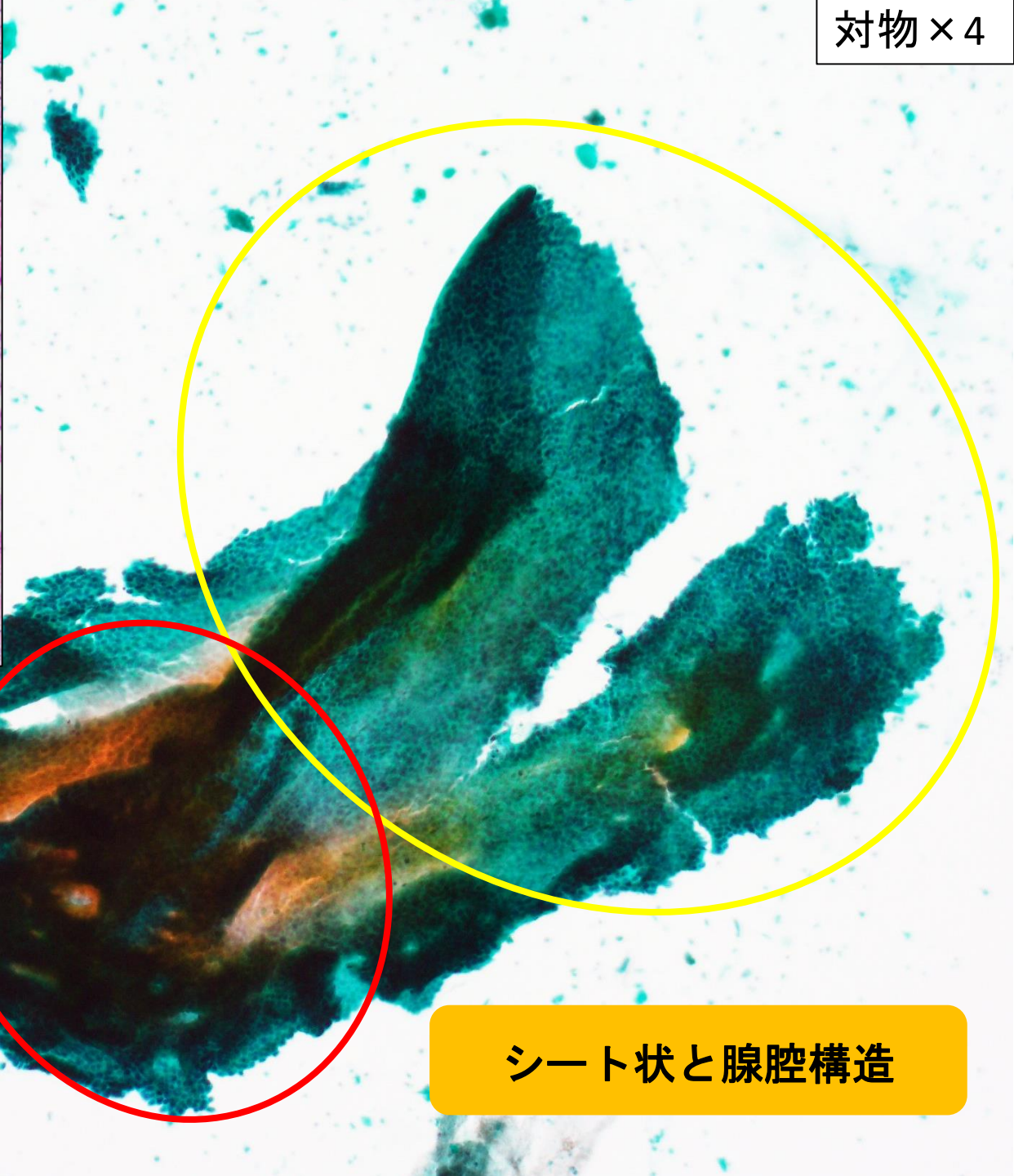


- ・ 低乳頭状, 架橋状, 篩状構造
- ・ 間質浸潤は明らかでない

対物×4

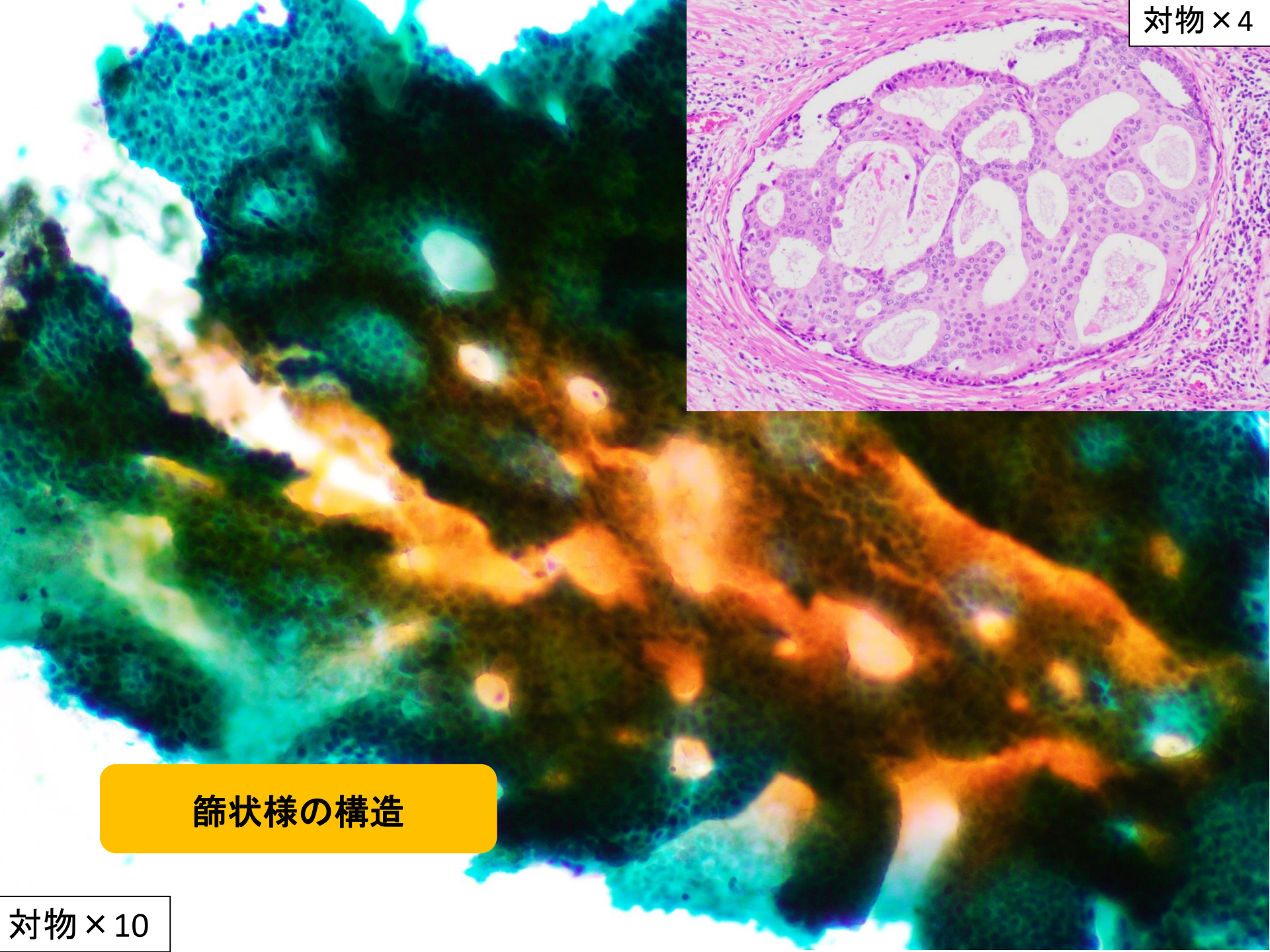
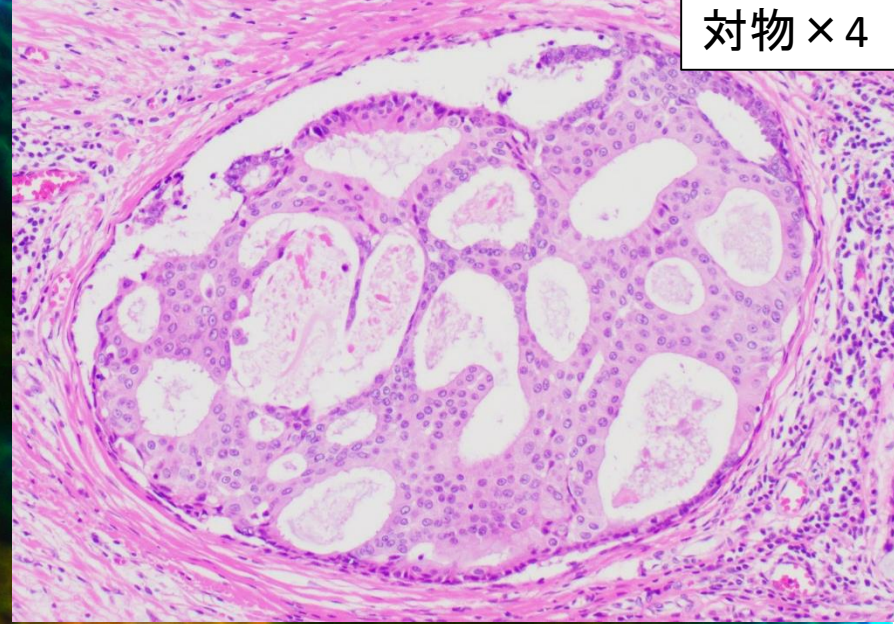


対物×4



シート状と腺腔構造

対物×4

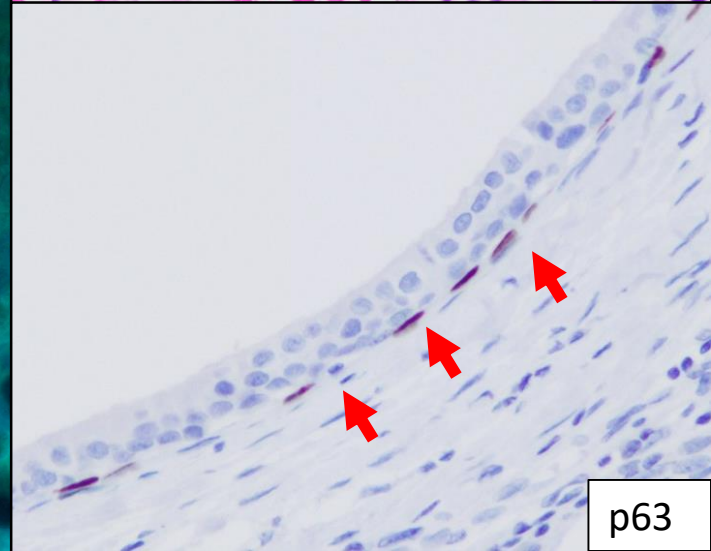
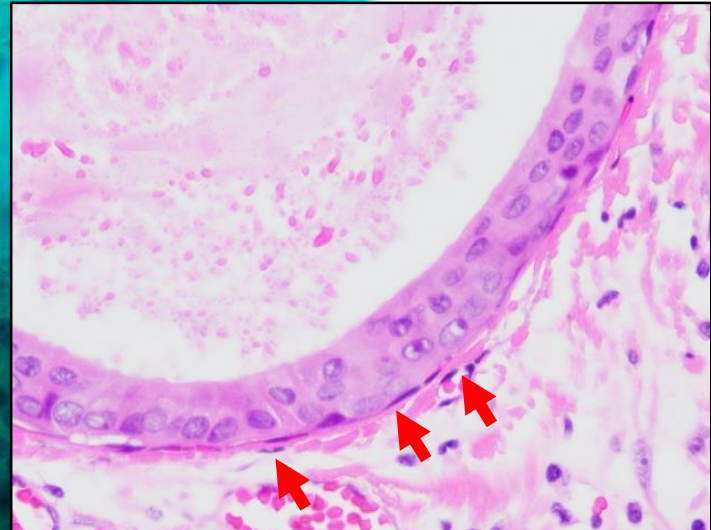


篩状様の構造

対物×10

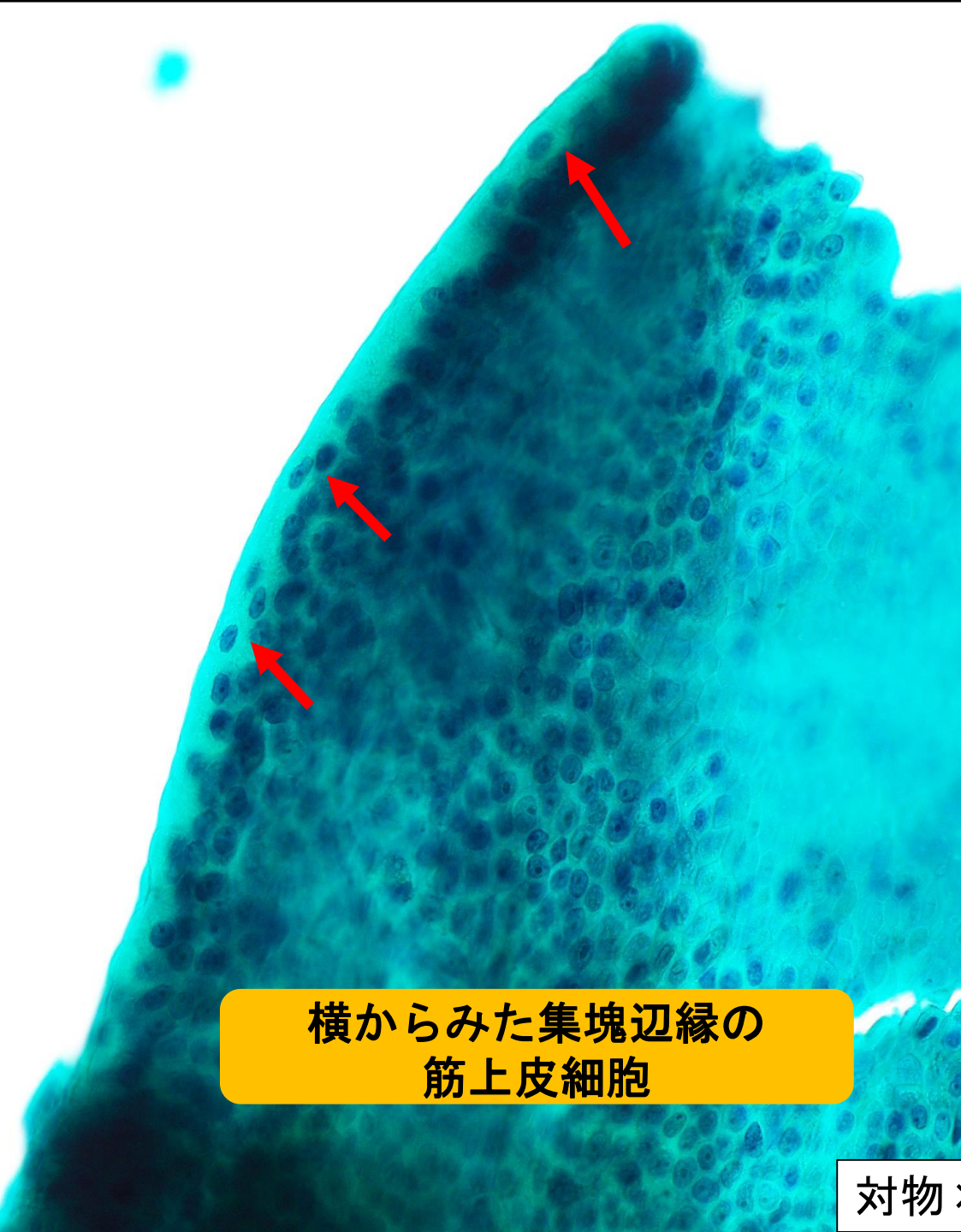


集塊の上からみた  
筋上皮細胞

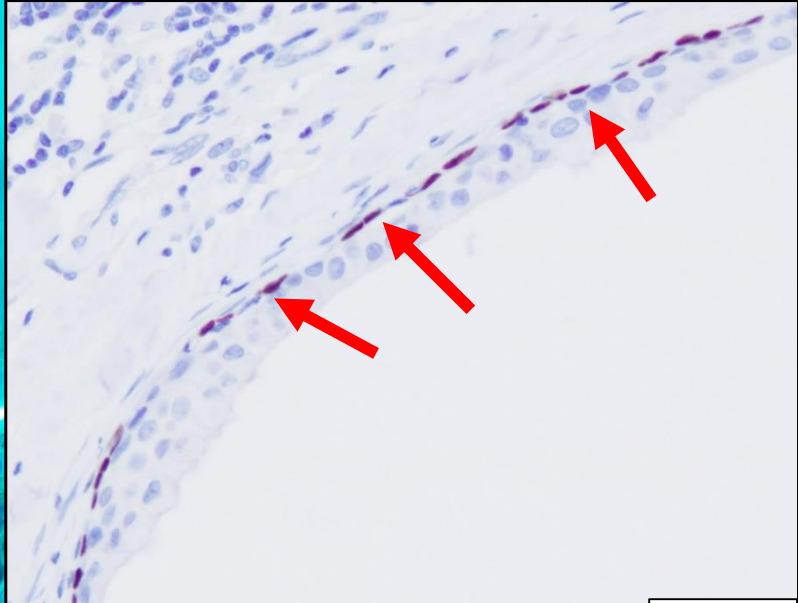
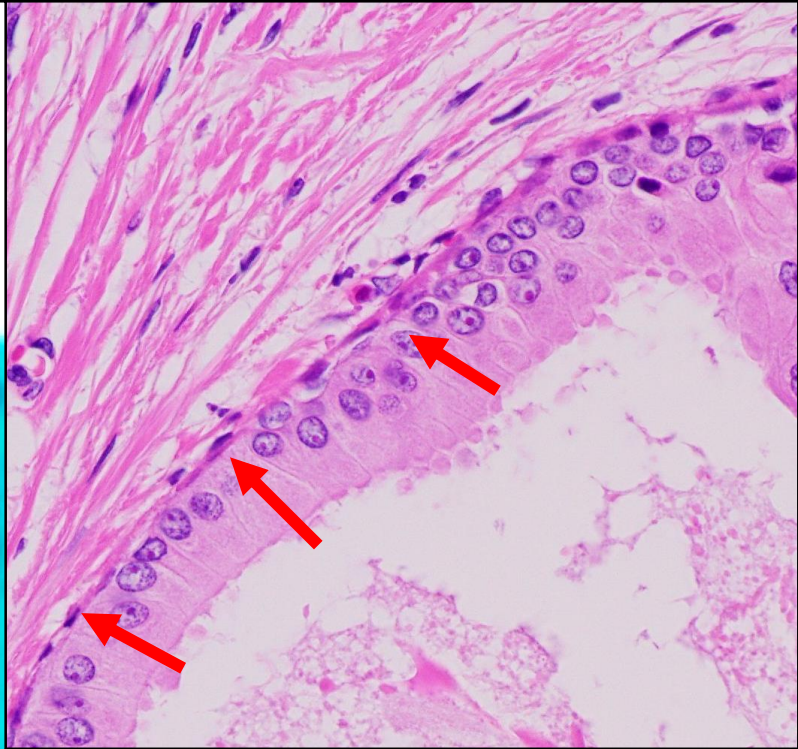


対物×20

p63

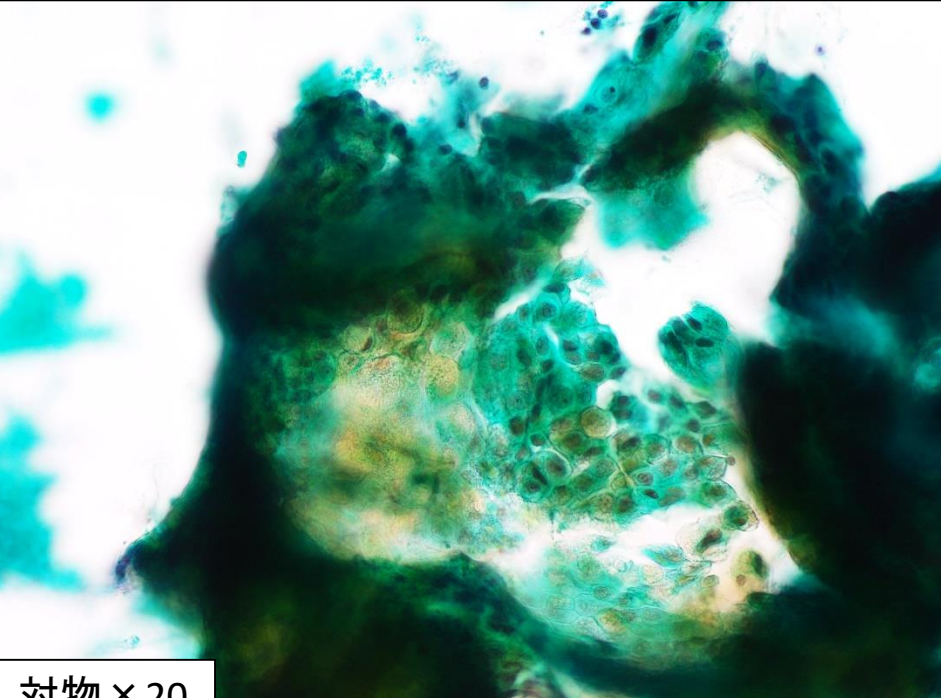


横からみた集塊辺縁の筋上皮細胞

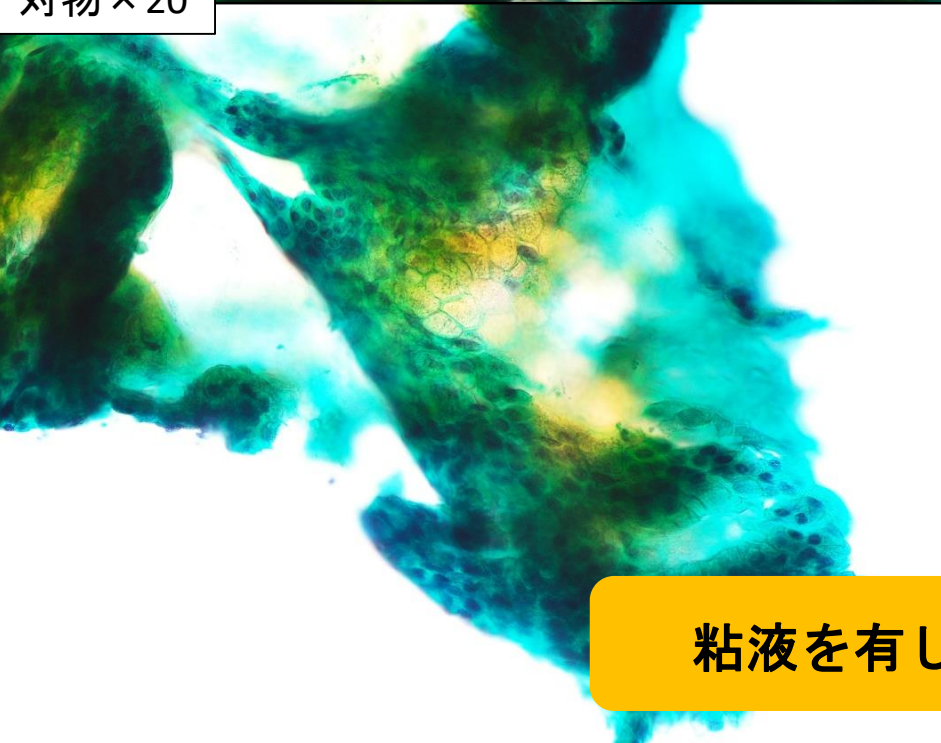


対物 × 20

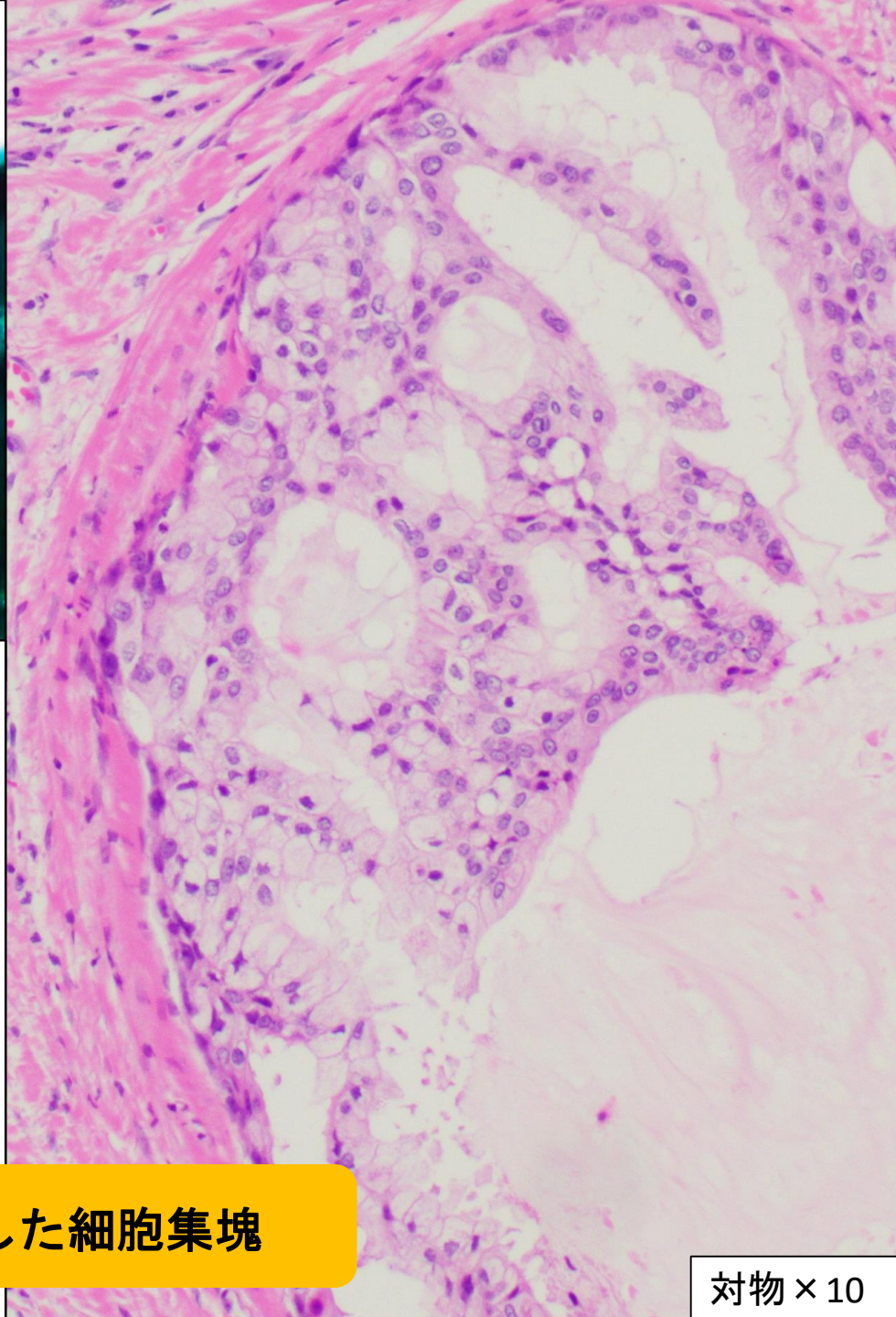
p63



対物×20



粘液を有した細胞集塊



対物×10

## 【手術検体免疫染色結果】

- ER: 30%
- PgR: < 1%
- HER2: score2
- Ki-67 labeling index: 5~10%

## 【病理組織診断】

Ductal carcinoma in situ

# 【DCISの文献的な細胞所見】

	低異型度DCIS	高異型度DCIS
背景	比較的きれい、 <b>泡沫細胞</b> 、 <b>蛋白様物質</b>	壊死物質 (comedo necrosis)、 <b>泡沫細胞</b>
構造	<b>シート状</b> 、 <b>乳頭状</b> 、微小乳頭状 (低乳頭状)、 <b>篩状</b> 、充実性など	
筋上皮細胞	<b>少数</b>	不明瞭～消失
核形	<b>円形核</b> 、 <b>緊満感</b> 軽度の核形不整	多型核 著しい核形不整
クロマチン	微細顆粒状	粗顆粒状
核小体	しばし <b>小型の核小体</b>	明瞭・複数個の核小体
N/C比	症例により多様	高い
その他		核分裂像、変性・裸核細胞

今回の症例では、赤字で示した細胞所見がみられ、比較的核異型の弱い低異型度のDCISであった

- 本症例は、DCISを示唆する細胞像がみられ、細胞診での推定診断が可能であった。
- 集塊の構造異型、結合性、筋上皮の存在等、詳細な観察がDCIS推定に重要であると考えられる。